

表1 入津湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和5年9月22日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア	ヘテロシグマ	コクロディニウム
							ミキモトイ	アカシオ	ホリクリコイデス
1. 西野浦(浪井義三氏筏前)	10:08	0	25.5	32.83	6.6	0	0	0	0
		4	25.4	33.31	5.9	0	0	0	0
2. 河内	11:09	0	26.1	32.44	8.2	0	0	0	0
		4	25.7	33.24	7.7	0	1600	0	0
3. 楠本	11:20	0	26.0	32.53	7.9	0	0	0	0
		2	25.8	33.16	8.4	0	2	0	0
4. 湾中央	10:37	0	25.5	33.27	6.5	0	680	0	0
		2	25.4	33.25	6.7	0	1400	0	0
		5	25.1	33.39	5.2	0	110	0	0
		10	24.8	33.52	5.9	0	40	0	0
		22.9	18.7	30.99	0.0	0	0	0	0
5. 洲の本	9:59	0	25.5	32.89	6.1	0	0	0	0
		3	25.3	33.32	5.4	0	0	0	0
6. 畑野浦	11:46	0	25.6	33.11	7.3	1	0	0	0
		2	25.4	33.30	7.5	0	2700	0	0
7. 尾浦	9:48	0	25.2	33.23	7.0	1	0	0	0
		5	24.7	33.63	6.8	0	0	0	0
8. 西野浦(自動昇降機前)	10:20	0	25.8	32.92	7.3	0	0	0	0
		5	25.3	33.29	5.9	0	1	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイデス	30以上	300以上



自動昇降機QRコード

URL: <http://hydro.browse.jp/hydrolift/25-Oitaminami/oitaminamitop.html>

- * 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。
- * アワビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。
- * マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項

有害プランクトンのシャットネラsp.とカレニア・ミキモトイが確認されました。

カレニア・ミキモトイが警戒密度を超えております。

魚介類の管理にご注意ください。

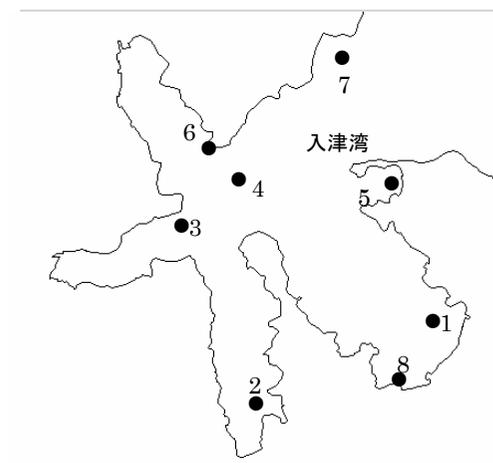


図 赤潮調査点